

## 第2回異業種交流セミナー「戦略構築力」研修企画書

2018. 5. 31 戦略人材開発研究所

日本企業の多くは国内市場の飽和、グローバル市場での競争激化、既存ビジネスモデルや技術の成熟、など大きな変革期にあります。まさに「変革の時代」「戦略の時代」です。

このような状況にもかかわらず、ミドル層の意識や思考・行動が不十分で、全社一丸となった「戦略行動」が不全に陥っている指摘は少なくありません。

そのような問題意識に立ち、本研修は「戦略立案／実行の一線」を担っている中堅課長層を対象に、経営／事業戦略の基本知識にとどまらず、応用力やリーダーシップを鍛えることを主眼としています。

### 1. 狙い：

- ①戦略について、深く考える力(思考力)を鍛える
  - ②自社の強み、独自性、思考のクセを深いレベルで**相対化、客観視**する
  - ③自社の特徴を**発見、深掘り**して考える
- \*基本的な経営知識を学ぶ場だけではなく、「戦略的な思考力(頭の回し方)」を鍛える場です
- \*戦略立案／実行の一線を担う立場として、「当事者意識」を求めます。
- \*深いレベルの異業種交流により、自社を客観視し、問題意識を深めます

### 2. 日程：詳細スケジュールは現在検討中

1泊2日×3セッション+各社テーマ合同発表会日帰り1日

#### ①第1セッション：事業戦略の考え方

\*10/12(金)～13(土) 於：クロスウエーブ府中

#### ②第2セッション：戦略の展開と意思決定

\*11/16(金)～17(土) 於：クロスウエーブ府中

#### ③第3セッション：ビジネスモデルの検討

\*12/21(金)～22(土) 於：クロスウエーブ府中

#### ④全体発表会：「自社のビジネスモデルの検討～特徴/戦略のクセ」

\*2月2日(土) 予定 (場所：クロスウエーブ府中)

\*各社毎に設定したテーマを事前に深掘り、まとめたものを各社別に発表、全体で討議

### 3. 研修の進め方・教材、

- ①各セッションの初日は、テーマに即したケーススタディ、2日目はケーススタディと毎回のテーマに沿って各社別討議と全体発表を行います。
- ②セッションの最後には、主任講師が「戦略論」の観点から、そのセッションでの重

要論点をとり上げ、総括します。

③事前学習：毎回事前学習があります。

\* 指定教材のリーディング

\* 事前課題(ケースの設問、自社課題の考察)、必要に応じ事前提出もあります)

④教材

\* 「経営戦略の論理」第4版 伊丹敬之著

\* 「競争戦略」加藤俊彦著

4. 参加人員×参加企業数

最大22名(4名×5社)：中堅課長層を想定

\* 各社毎の参加者数は3～5名：事務系、技術系問わず

深い異業種交流を実現するため、各社別参加者数は最低3名、最大5名とする

5. 参加企業(最大5社)

\* 議論の焦点が拡散しないよう、メーカーやエンジニアリング企業を中心とする

\* 参加確定企業： サントリー、住友林業、帝人、SUBARU、

6. 講師団(予定)

主任講師 加藤俊彦 (一橋大学大学院商学研究科教授)

講師 藤原雅俊 (一橋大学大学院商学研究科准教授)

講師兼コーディネータ：神谷隆史

(戦略人材開発研究所所長、元東京理科大イノベーション研究科MOT専攻教授)

7. 参加費用(予定)

50万円/1人 (消費税含まず、宿泊、教材費含む)

8. 運営

戦略人材開発研究所代表取締役所長 神谷隆史

〃

取締役 鎌谷宮子

\* メール：[info@ish-senryaku.co.jp](mailto:info@ish-senryaku.co.jp)

\* 電話 : 03-5464-6333

\* FAX : 03-5464-6334

以上